

© EPODOC / EPO

PN - JP4024039 A 19920128  
 PD - 1992-01-28  
 PR - JP19900129899 19900518  
 OPD - 1990-05-18  
 TI - GAME INSTALLATION  
 IN - YAMADA MASA AKI  
 PA - LIC KK  
 IC - A63F5/04 ; A63F7/02

© PAJ / JPO

PN - JP4024039 A 19920128  
 PD - 1992-01-28  
 AP - JP19900129899 19900518  
 IN - YAMADA MASA AKI  
 PA - L I C:KK  
 TI - GAME INSTALLATION  
 AB - PURPOSE:To enable a player to judge the possibility of prize winning immediately since his start of a game by providing an indicating section for indicating past records of prize winning by a game machine in time series.  
 - CONSTITUTION:An indicating section 5 indicates the calculating result outputted from a prize winning record calculating circuit 4 on a cathode-ray tube 5a in time series and previously the abscissa X representing time and the ordinate Y representing a difference between the numbers of prize winning balls and out balls and additionally the calculating results from a prize winning record calculating circuit 4 at every calculation in a position corresponding to the time in the form of bar graph 6. Thus, the indicating section 5 shows sequentially additionally a difference between the number of prize winning and that of out balls based on games played at intervals of 15 minutes for example as a bar. A player can understand the hourly variation in the prize winning records and read the indicated area of the bar graph 6 to know roughly the number of accumulated prize winning balls or the number of accumulated out balls. Thus, the player can judge the possibility of prize winning immediately since his start of the game.  
 I - A63F7/02 ;A63F5/04 ;A63F7/02

## ⑫ 公開特許公報(A)

平4-24039

⑤Int. Cl.<sup>5</sup>A 63 F 7/02  
5/04  
7/02

識別記号

3 5 0 Z  
5 1 2  
3 2 0  
3 3 2 Z

庁内整理番号

6935-2C  
6777-2C  
7017-2C  
6935-2C

⑬公開 平成4年(1992)1月28日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全4頁)

⑭発明の名称 遊技設備

⑰特 願 平2-129899

⑱出 願 平2(1990)5月18日

⑲発 明 者 山 田 正 明 大阪府大阪市淀川区西中島4丁目4番11号 株式会社エル・アイ・シー内

⑳出 願 人 株式会社エル・アイ・シー 大阪府大阪市淀川区西中島4丁目4番11号

㉑代 理 人 弁理士 北 村 修

## 明 細 書

## 1 発明の名称

遊技設備

## 2 特許請求の範囲

1. 遊技機(1)の入賞実績を時系列で表示する表示部(5)が備えられている遊技設備。
2. 前記表示部(5)は、遊技機(1)毎に設けられて当該遊技機(1)の入賞実績を時系列で表示するものである請求項1記載の遊技設備。
3. 前記表示部(5)は、入賞実績を時系列でアナログ表示するものである請求項1又は2記載の遊技設備。

## 3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、パチンコ機やスロットマシン等の一定の入賞条件の成立で利益を獲得し、不成立で遊技者がその持分を損失する遊技機が設けられている遊技設備に関する。

〔従来の技術〕

遊技機にはその構造、形式が同一であっても

入賞確率の高いものと低いものとがあって、その入賞確率も遊技時の状況によって変動し易いことが経験的に知られており、遊技者は各々独自の方法で入賞確率が高いと思われる遊技機を選択して遊技する傾向が強い。

そこで、遊技機を選択する判断材料を遊技者に提供する目的で、従来、入賞によって獲得した利益の累積獲得数が入賞しなかったことによって損失した累積損失数よりも一定数以上増えると遊技終了となり、その獲得数に応じて最品を受取る等の清算を行う必要のあるパチンコ機等の遊技機が設けられている遊技設備においては、営業開始時からの遊技終了回数を遊技機毎に表示することが行われている。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところが、遊技者は自己の遊技開始直後からの入賞確率が高い遊技機を選択したい願望がある所、前記従来のように遊技機選択の判断材料として提供される遊技終了回数は、過去の遊技終了実績を象徴的に表示しているに過ぎず、平

均的な入賞確率を示唆し得るとしても、遊技者が求めている自己の遊技開始直後からの入賞確率の高低を判断する判断材料になりにくい欠点がある。

本発明は上記実状に鑑みて為されたものであって、遊技者に提供すべき遊技機選択の判断材料の表示手段を工夫することにより、遊技者が自己の遊技開始直後からの入賞確率を判断し易い遊技設備を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成する為の本発明による遊技設備の特徴構成は、遊技機の入賞実績を時系列で表示する表示部が備えられている点にあり、かかる構成から次の作用効果を奏する。

〔作用並びに発明の効果〕

遊技者は過去の入賞実績の時間的変化を知ることができ、これによって自己の遊技開始直後からの入賞確率を遊技者なりに憶測できる。

請求項2記載の遊技設備は、前記表示部は、遊技機毎に設けられて当該遊技機の入賞実績を

時系列で表示するものであるから、例えば複数の遊技機が集合して構成される島に一つの表示部が設けられ、その一つの表示部で島を構成している遊技機全体の平均入賞実績を時系列で表示するよう構成されている遊技設備に比べて、判断材料を遊技機毎にきめ細かく提供できる。

請求項3記載の遊技設備は、前記表示部は、入賞実績を時系列でアナログ表示するものであるから、遊技者は表示部を見て直感的に判断し易い。

〔第1実施例〕

第2図は遊技機の一例としてのパチンコ機(1)の複数が並設されている遊技設備を示す。

前記パチンコ機(1)は打球がいずれかの入賞口(2)に入ると所定個数(13個)のパチンコ玉が賞球として払出されて遊技者は利益を獲得し、打球がいずれの入賞口(2)にも入らなかった場合にはアウト球としてアウト口(3)に入って遊技者はその持分を損失するものである。

前記パチンコ機(1)の各々に、当該パチンコ

機(1)の入賞実績を賞球の個数とアウト球の個数との差として演算する入賞実績演算回路(4)とその演算結果を時系列で表示する表示部(5)とが設けられている。

前記入賞実績演算回路(4)は、第3図に示すように、入賞によって獲得した獲得数としての賞球数をカウントする第1カウント回路(4a)と、入賞せずに損失した損失数としてのアウト球数をカウントする第2カウント回路(4b)と、賞球数からアウト球数を減算する減算回路(4c)と、15分置きに時間信号を出力する計時回路(4d)とが備えられ、計時回路(4d)から時間信号が出力されるとそのときに入力されている賞球数とアウト球数とに基づいてその差が減算回路(4c)で演算され、演算結果が表示部(5)に出力されるとともに第1、第2カウント回路(4a)、(4b)がリセットされる。

前記表示部(5)は入賞実績演算回路(4)から出力される演算結果をブラウン管(5a)に時系列で表示するもので、第1図に示すように、時刻

を示す横軸(X)と、賞球数とアウト球数との差を示す縦軸(Y)とが予め表示されており、入賞実績演算回路(4)から演算結果が出力されるとその都度その演算結果をその時刻に対応する位置に棒(6)グラフ状に追加表示する。

そして、賞球数がアウト球数よりも多い時にはその差が横軸(X)の上に立ち上がる棒(6)の長さとして表示され、賞球数よりもアウト球数が多いときにはその差が横軸(X)の下に垂れ下る棒の長さとして表示される。

従って、表示部(5)には15分間の間に行われた遊技に基づく賞球数とアウト球数との差が一本の棒として15分置きに順次追加表示され、遊技者は入賞実績の時間的変化を知ることができるとともに、棒グラフ状の表示面積を読み取ることによって累積賞球数或いは累積アウト球数の概略を知ることできる。

尚、表示部(5)は、累積賞球数が累積アウト球数よりも一定数以上に増えて遊技終了となったときには、その終了時点を含む時刻に対応し

て表示される棒(6)が点滅するよう構成されている。

〔第2実施例〕

第4図は、複数のパチンコ機(1)が集合して構成される島(7)の島端に、その島(7)に設けられている遊技機(1)毎の入賞実績を表示する第1実施例と同様の表示部(5)の全部が一括して並設されている実施例を示し、遊技者は遊技機(1)の入賞実績を比較しながら遊技機(1)を選択できる。

〔その他の実施例〕

- イ、遊技機としてはパチンコ機に限定されず、スロットマシンその他の球或はメダルを遊技用媒体とする遊技機、更には遊技用媒体の遊技機からの出し入れを伴わず、遊技を終えた時に清算書やカードで勝ち負けが精算される遊技機であっても良い。
- ロ、入賞実績の表現形式は特に限定されず、単位時間当りの入賞によって獲得した獲得数と入賞しなかったことによって損失した損失数

との比として表現するものであっても良い。

ハ、入賞実績の表示形式は特に限定されず、線、

ドットによるアナログ表示、或はデジタルで表示するものであっても良い。

ニ、単位時間当りの入賞によって獲得した獲得数が単位時間当りの損失数よりも多い場合と、その逆の場合とを互いに異なる色彩で表示するよう構成しても良い。

ホ、表示部は、累積獲得数が累積損失数よりも一定数以上に増えて遊技終了となったとき、その遊技終了を示す札等をその遊技終了時刻に対応する所定の位置に掲示して入賞実績を時系列で表示するものであっても良い。

ヘ、同一機種種の遊技機がいわゆる島等の一定範囲に集めて設けられている場合、その同一機種種の遊技機全体の平均入賞実績を時系列で表示する表示部が設けられている遊技設備であっても良い。

尚、特許請求の範囲の項に図面との対照を便利にする為に番号を記すが、該記入により本発

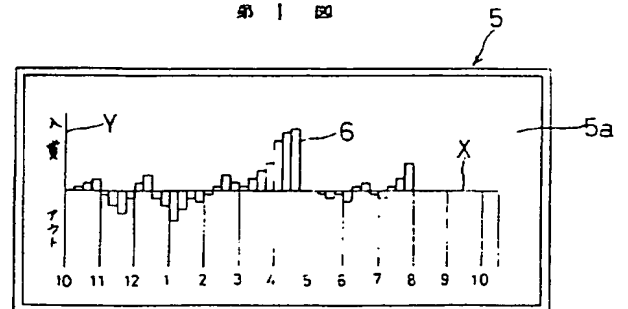
明は添付図面の構造に限定されるものではない。

4 図面の簡単な説明

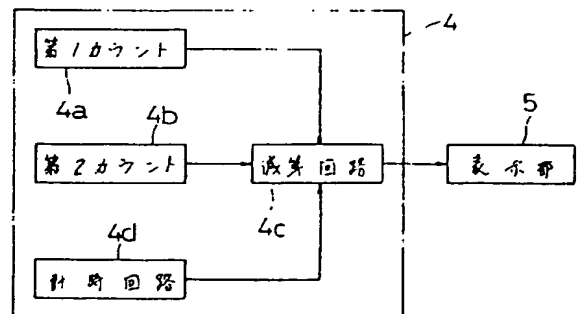
図面は本発明に係る遊技設備の実施例を示し、第1図は要部正面図、第2図は正面図、第3図はブロック図である。第4図は別実施例を示す斜視図である。

(1) …… 遊技機、(5) …… 表示部。

第1図



第3図



代理人 弁理士 北 村 修

